

2019年度 事業計画書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

1. 磁気健康科学に関する基礎及び応用研究等に関する助成
(定款第4条第1号関係)
 - (1) 基礎研究。例えば、弱磁場から超強磁場までの磁場の生体への作用に関する基礎研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。
 - (2) 応用研究。例えば、家庭用磁気治療器等を含む磁気の医療への応用研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。
 - (3) 指定テーマ研究。研究助成金応募要領に記載の研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。助成研究の結果は、研究助成成果報告書として発行する。
2. 磁気健康科学に関する技術動向等の調査及び研究に対する助成
(定款第4条第2号関係)

磁気健康科学に関する技術動向等の調査及び研究を行う国内外研究機関等に対して助成を行う。
3. 磁気健康科学に関する情報の収集及び提供
(定款第4条第3号関係)
 - (1) 磁気健康科学に関する技術動向等について情報の収集を行う。
 - (2) 本財団の活動、関係情報等を取りまとめ、刊行物を発行する。
4. 磁気健康科学に関する普及及び啓発
(定款第4条第4号関係)

磁気又は磁気に係る知識の普及及び啓発を行うため、セミナー(賛助会員等)を開催する。
5. 磁気健康科学に関する研究者の表彰
(定款第4条第5号関係)

磁気健康科学に関する基礎及び応用研究等を行う研究者を表彰する。
6. 30周年にむけた磁気健康科学に関する研究にたいする特別助成
(定款第4条第1号関係)

通常の単年度助成枠とは別に「特に将来性を期待する研究テーマ」に対して、研究助成期間を3年間に延長し特別助成を行う。
7. 寄付金に基づく特別賞贈呈
(定款第4条第1号関係)

個人寄附金を基金とした「岡井治特別賞」を設定し、今後6年間研究助成を行う。
8. 大学院生・研究機関在籍者に対する留学助成
(定款第4条第6号関係)

将来に渡って社会貢献が期待される最先端分野において海外での学問や研究に対する留学助成「渡邊利三国際奨学金事業」を行う。